

「もしかして認知症？」と思ったら・・・
どこに相談したらいいの？

まずは「かかりつけ医」や、
近くの地域包括支援センターに
相談しましょう

病院を受診したい
診断してほしい

相談したい
認知症のことを
知りたい

かかりつけ医
認知症サポート医
(認知症の人の診
療や支援の専門的
医師)
に相談

お住まいの地域の
地域包括支援
センターまたは、
磐田市福祉政策課
に相談



認知症疾患医療センター
(磐田市立総合病院内)
認知症専門外来
精神科

「認知症サポート医」や認知症の
診療を行う医療機関については
こちらから



相談先

高齢者の総合相談窓口

月～金(祝日・年末年始を除く)
8:30～17:15

地域包括支援センター

担当 中学校区	名称・所在地	連絡先
城山 向陽	城山・向陽地域包括支援 センター(見付2510-4)	36-4865
磐田第一 神明	中部地域包括支援 センター(iプラザ内)	37-1060
南部	南部地域包括支援 センター (急患センター内)	36-8900
豊岡	豊岡地域包括支援 センター(豊岡支所内)	0539- 63-0500
豊田 豊田南	豊田地域包括支援 センター(豊田支所内)	36-1300
竜洋	竜洋地域包括支援 センター(竜洋支所内)	66-9221
福田	福田地域包括支援 センター(福田支所内)	58-3242

認知症カフェ

認知症のこと、認知症の方の介護のこと
など、日頃の悩みや心配ごとを気軽に
話し合える場です。



各地域で開催されています。
詳しい日程はこちらから→



知って・気づいて・備えるために

認知症安心ガイド

認知症は特別な病気ではありません。

誰もが認知症になる
可能性があります。

これって認知症？

今後のために
どういうことを考えて
おけばいい？



将来に向けて、
「いまできること」を
考えてみましょう



作成：磐田市 福祉政策課

地域包括ケア推進グループ

☎0538-37-4831

認知症の症状変化と対応

認知症になったら何もできなくなるわけではありません。

いまできること・これから起こりうることを理解することが大切です。

	MCI (軽度認知障害) もの忘れが気になる時期	初期 見守りがあれば生活できる	中期 日常生活で手助けが必要	後期 常に介護が必要
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・「あれ」「それ」が多くなっている ・同じことを何回も繰り返すことが増えた ・物忘れの自覚がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・大事な約束を忘れる ・置き忘れや紛失が多くなる ・車の運転に支障がある ・料理の味が変わった 	<ul style="list-style-type: none"> ・今したことや、話をしたことを忘れる ・些細なことで怒りっぽくなる ・季節に合った服を選べない 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることが少なくなる ・身近な家族の顔が分からなくなる ・うまく気持ちを表現できず、感情的になる
本人の気持ち	自分がこれまでと違うことに気づき、この先どうなるのか不安		気持ちが沈んだり、イライラして不安が高まる	自分の感情や気持ちをうまく表現できない
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人の話を最後まで聞く ● できないことを責めず、できることを継続して取り組めるようにする <p>→ 悩みを抱え込まず、早めに相談しましょう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 専門職と相談しながら、制度やサービスを上手に取り入れる ● 1人で抱え込まず、理解者や協力者をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療、介護の専門職としっかり連携をとる ● 本人、家族にとって安心安全な住まいはどこか相談する

※アルツハイマー型認知症の症状を例に作成しています。

💡「もしかして…?」と思ったら、早めの相談・受診が大切です

認知症には様々な原因があります。早めの治療や生活改善などの対応により、症状が改善したり、進行を遅らせたりすることができます。

認知症とよく似た症状を起こす病気もあります。
早めに発見し治療することで症状が改善する場合があります。

若年性認知症

認知症は若い世代でも発症することがあります。65歳未満で発症した場合は「若年性認知症」といいます。職場や生活での変化を見逃さず、早期診断と治療が大切です。

軽度認知障害 (MCI)

認知症の前段階で、軽い記憶障害等であっても日常には大きな支障はない状態



MCIの段階で発見、対応すれば、**認知症への移行を予防・先送り**できる

「認知症の各段階に応じた利用可能なサービスや相談窓口」についてまとめた

認知症ケアパスはこちらから→

